

2023年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	介護の家 コスモス男山	代表者	三宅 悦子	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなに重度の障がいや認知症があっても介護を引き受ける</li> <li>・利用者の従来の生活や価値観をできる限り尊重し、個別ケアを行う</li> <li>・虐待、拘束をはじめ利用者の人としての尊厳を傷つける行為がないよう、研鑽を積む</li> </ul>					
事業所名	コスモス男山	管理者	西村 宜子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1	5		1	1		5		13

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族の希望をよく聞き、それに添ったケアをしていく。</li> <li>・利用者の目標は、具体的にわかりやすく決める。</li> <li>・家族の介護負担が軽減できるよう、介護のアドバイスなどを適宜行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の家族の状況に応じて、個別ケアができている。</li> <li>・利用者の目標やゴールは、介護職員が分担してわかりやすくまとめた個人ノートを作成し、共有した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価から、毎年、事業所運営への職員の参画度が高まってきている様子が伺える。</li> <li>・利用者への個別の対応が素晴らしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族がどのように暮らしていきたいかの願いを具体的に聞き、それを実現できるように、ケアプランを立てる</li> <li>・家族支援という視点を大切に、家族の負担を軽減できるよう、介護のアドバイスや利用の日程調整などきめ細かに調整する</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の花や野菜を楽しめるように、花壇の整備を行う。</li> <li>・利用者と共に室内の飾りを作成し、季節感を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇の整備に努めた。</li> <li>・季節に応じた作品作りや壁画、花を活けて利用者の方に楽しんでもらった。</li> <li>・常に防災意識を持つようにし、不要なものは処分。安全に過ごせるような場所づくりをした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所は、清潔感があり、排せつ臭もない。</li> <li>・いつも季節の花や作品が飾られている、</li> <li>・物がよく整理されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節の花や野菜を楽しめるように、花壇の整備を行う。</li> <li>・利用者と共に室内の飾りを作成し、季節感を味わう。</li> <li>・換気を意識し、感染症対策を徹底する</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策を続けながら、地域との関わりを続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策を講じながら、地域講座や健康・繋がりづくり事業、オレンジカフェを開催した。ボランティアの受け入れも続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一階喫茶は居心地が良いので、地域の人にもっと知ってもらえたらよい。最近利用者が増えてきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫茶店が地域の居場所になるよう、工夫していく。</li> <li>・「オレンジカフェ」「健康・繋がりづくり事業」地域講座なども継続して開催する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」などを窓口にして地域の方の相談に応じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」にて、地域の方の相談に応じるようにした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」で、地域の交流の場がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康・繋がりづくり事業」や「オレンジカフェ」などを窓口にして地域の方の相談に応じる。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員から地域の情報を提供してもらい、コスモスだよりの配布などを通して情報の発信にも協力いただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員会にて、コスモス男山の現状を伝えてきた。委員の方々には、様々な形で地域の方に情報発信してもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員として協力したい。</li> <li>・コスモス男山の良さをもっと広報していったらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進委員から地域の情報を提供してもらい、地域のニーズを把握する。</li> <li>・コスモスへの率直なご意見も伺う。</li> <li>・新たに作成したチラシの配布など情報発信に協力依頼する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP 策定委員は、研修を受ける。BCP 策定に向けて具体的に話し合っていく。</li> <li>・避難訓練を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の対応を学ぶ職員研修を開催した。</li> <li>・BCP 策定委員は研修を受け、月に2回会議を開き職員にもその都度報告し、内容を共有した。</li> <li>・コロナ禍でできなかった避難訓練を実施した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時への体制づくりが進んでいると聞いて、安心した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定したBCP（業務継続計画）を職員間で共有し、防災時への対応を話し合う</li> <li>・災害時のワークショップを実施する</li> <li>・避難訓練を行う。</li> </ul>